学校番号	1302

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)書道表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典の臨書や鑑賞をとおして書の表現の多様性について理解を深め、個性豊かに表現することを学びます。
・一人ひとりの個性を生かし書ならではの見方、考え方を身に付け書を身近な存在として感じられるようになってほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書　篆書	・篆書の特徴 ・泰山刻石 ・石鼓文 ・作品制作 うちわ	a: 篆書の古典の特徴 と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:篆書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察 振り返りシート	提出物	観察 振り返りシート
2学期	刻字	・作品制作 消しゴム印	a:印や刻字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:印や刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に 主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
	漢字の書　隷書	・隷書の特徴 ・曹全碑 ・礼器碑 ・敦煌漢簡	a:隷書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b:隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:隷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察 振り返りシート	提出物	観察 振り返りシート

3学期	漢字仮名交じりの書	・作品制作 カレンダー ・鑑賞	a: 漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に 主体的に取り組もうとしている。	観察 提出物 振り返りシート	提出物	観察 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度